

平成 28 年 7 月 29 日

各 位

会 社 名 日本ライフライン株式会社
代表者名 代表取締役社長 鈴木啓介
(コード番号 7575)
問合せ先 取締役管理本部長 山田健二
(TEL. 03-6711-5200)

腹部大動脈瘤治療用ステントグラフトに関する独占販売契約締結のお知らせ

当社は、平成 28 年 7 月 4 日にエンドロジックス社と新たに同社製の腹部大動脈瘤治療用ステントグラフト(以下、腹部用ステントグラフト)「Ovation(オベーション)」の日本国内における独占販売契約を締結し、2017 年度中の上市を目指して導入準備を開始いたしましたのでお知らせいたします。「Ovation」の導入により、本年 1 月に、同社製の「AFX ステントグラフトシステム」の発売により参入した腹部用ステントグラフト市場における商品ラインナップの充実を図ってまいります。

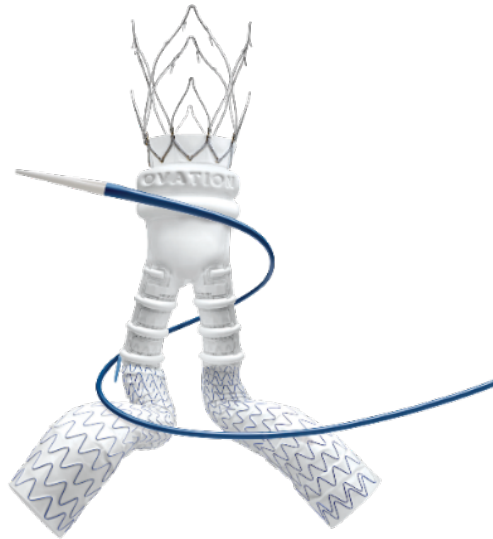
「Ovation」は、ステント部分とグラフト部分が重ならない独自構造を採用することで収縮時における直径を細く抑えるとともに、高い柔軟性を実現しており、ステントグラフトを留置するためのデリバリーシステムも現在の競合品の中では最も細くなっております。これらの特長により、血管が細い症例や複雑に蛇行している症例においてもステントグラフトを治療部位へ留置することが可能となります。

また、「Ovation」は、ステントグラフトの血管への固定方法においても、ステントグラフト上部の外周に備えられた袋状のリングにポリマーを充填し膨らませることでステントグラフトを血管壁に圧着するという独自の方式を採用しております。この方式は、金属製のステントを拡張する一般的な固定方法に比べ、様々な形状の血管に対応することが可能であるとともに、優れたシール性により血液の漏れを防止することが期待されます。

さらに当社は、「Ovation」に加えて、腹部用ステントグラフトにおける中期的な商品ラインナップとして、大動脈瘤内部をポリマーにより完全に塞ぐことで治療するエンドロジックス社の次世代製品「Nellix(ネリックス)」についても、国内への導入に向けた取り組みを進めております。

当社は、大動脈治療領域において、自社製品である人工血管やオープンステントグラフトといった開胸手術の際に用いる医療機器に加え、カテーテルを用いて経皮的治療に治療を行う、海外メーカーの胸部および腹部のステントグラフトを取り扱っており、他社にはない豊富な商品ラインナップを有しております。当社といたしましては、今後も患者様や医療現場の多様なニーズに応えられる優れた医療機器の提供に努めてまいります。

以 上



腹部用ステントグラフト「Ovation」

エンドロジックス社について

エンドロジックス社（Endologix, Inc.）は米国（カリフォルニア州アーバイン）に本社を置き、腹部大動脈瘤への先進的な低侵襲治療デバイスであるステントグラフトの研究及び開発を行っております。同社は「AFX ステントグラフトシステム」をはじめとして、「Ovation」、「Nellex」等の新規性の高い優れた製品を有しています。

腹部大動脈瘤：Abdominal aortic aneurysm (AAA)

腹部大動脈瘤とは体の中で最も太い血管の一つである腹部の大動脈において、動脈硬化などにより弱くなった血管壁が、動脈の高い圧力により瘤（こぶ）状に拡張する疾患です。大動脈瘤は一度形成されると圧力により拡大を続け、破裂した場合には多量の出血を伴い極めて致死率が高い疾患であります。2015年の日本国内における腹部大動脈瘤に対するステントグラフト治療の症例数は10,000例を超えられているとされています。